

# 平成20年度 第14回富里市教育委員会定例会議会議録

富里市教育委員会

- 1 期 日 平成21年2月24日(火)  
開会 午後2時04分  
閉会 午後5時11分
- 2 場 所 富里市役所分庁舎2階大会議室
- 3 出席委員 委 員 長 荒木田 直美  
委員長職務代理 高橋 弘和  
委 員 河田 厚子  
委 員 武井 勝彦  
教 育 長 吉富 芳正
- 4 出席職員 教育次長 細野 明  
教育総務課長 南條 正和  
学校教育課長 山田 眞澄  
生涯学習課長 萩原 三夫  
学校給食センター所長  
並木 明  
図書館長 中嶋 保雄
- 5 事務局職員 教育総務課主幹 高須 利幸  
教育総務課主査 越川 義幸

## 1 委員長開会宣言

委員長 平成20年度第14回富里市教育委員会定例会議を開会する。

## 2 前回会議録の承認

平成20年度第12回定例会議会議録及び第13回臨時会議会議録承認

## 3 教育長報告

- ・ 1月28日 平成20年度印教連教育功労者表彰者選考会議。選考委員として出席した。表彰式は別の日であるが、日吉台小学校 小川校長，浩養小学校 鈴木校長，富里中学校 山中校長，根木名小学校 梅里教諭の4名が表彰された。
- ・ 1月29日 道徳教育研究会。日吉台小学校で行われ，今年度，来年度と文部科学省の指定を受け，道徳教育の研究を実施している。1年間のまとめにあたる研究授業，協議がなされた。おおよそ着実に研究がなされている様子であり安心した。なお一層の研究の推進を期待している旨依頼した。
- ・ 2月3日 学力向上のための授業研究会。富里小学校で行われ，算数の先生を学部から呼び，授業を行ってもらい，その後，講演をしていただいた。子どもたちも考えさせられる授業がなされ，特に，教材研究の重要性を感じた。

## 4 教育委員報告

委員 1月29日 千葉県市町村教育委員会連絡協議会主催の教育委員研修会に参加した。早稲田大学の河村教授による「現代の子どもたちの実態といじめを生まない人間関係づくり」の講演があった。教育の計画は子どもの実態からという内容から始まり，基本的な生活習慣がしっかり身に付いているのは，現在では2割の子どもであり，昔で言えば普通の子どもということである。親が手伝ってできる子どもが6割で，この子どもたちが現在では普通の子どもということであった。このような状況の中，教師が学級経営をしていくことが大変になってきていることがわかる。学級は，満足型学級，先生の意向が強く，言うことを聞くようにする管理型学級，先生が友達感覚で接する馴れ合い型学級に分けられており，学力の順位は，満足型，管理型，馴れ合い型の順，いじめの発生率は馴れ合い型，管理型，満足型の順であるということである。秋田県や山形県では満足型の学級が多く，地域性が影響しているのではないかとということであった。

いずれにしても，地域，家庭，学校，学級という順に積み上げてプロ

グラムを作成すればよいのではないかという話であった。よく理解できる内容であり、現場で教壇に立たれている先生方にも聞いていただきたい内容であった。

委員 2月19日 生涯学習講演会。東京家庭研究所の宮崎先生による「子どもたちの生活リズムの向上のために家庭、地域で取り組めること」というテーマの講演であった。今までと違い、家庭教育学級全体閉級式と併せて行われたことがよかったと思う。家庭教育の重要性を先生自身の体験から話されており、心に響く内容であった。特に、庭を掃きながら掃除の仕方を教えていく、お詫びをしながら謝ることを教えていくというところで、押し付けるのではなく、行動から子どもたちの潜在意識に響かせるというものであった。いつも教育意識を持って子どもに接していこうということを再確認させられた内容であった。

委員 2月9日 愛知県東浦町教育委員会視察受入。内容として4項目あったが、その中で、教育プランについて記載されているもので細かな点についてまでは理解できていないのが実態であった。この視察にあたり、指導主事から内容の説明と資料が提示され、それを見て初めて理解できた。よければ、それぞれの取組について、担当者から説明してもらうような機会があればよいと思う。

委員長 指導主事と接する機会がなく、取組や内容を知る機会があればよいと思う。

2月8日 「英会話の日」関連行事。英会話の日の企画としてはよかった。有名な二人のゲストの話も面白く、子どもたちも楽しく聞いていた。コンテストについて、審査をしていたが、その基準をもっと詳しく話し合ったほうがよかったと思う。この行事の目的もわからない人もいたのではないかと思う。わからない中で審査をしているとすばらしい会話をしている人が表彰されるということになる。このコンテストが、すばらしい英語を話すことができる子どもを作るためなのか、もっと底辺を広げるためのものなのかを考えていった方がよいと考える。参加した子どもたちは、ワールドキッズに参加している子どもたちが多かった。参加グループで、全員がきちんと名前やあいさつができたグループと、代表者がすばらしい英語でスピーチし、その他の子どもたちは踊ったりしていたグループがあった。一人一人が話せたグループは入賞しなかった。来年度、同様に開催するのであれば、内容や審査方法について検討した方がよい。

## 5 議案

委員長 議案第1号から議案第3号までを一括議題とする。提案理由の説

明を求める。

教育長 議案第1号は、これまで協議をいただきました教育委員会の点検及び評価について、外部識者の知見をいただき、まとまったため議決をいただくものである。

議案第2号は、富里市立小学校においてゆめ・仕事びったり体験を夏休み中に実施するため、休業日の設定変更の承認を諮るものである。

議案第3号は、富里市立小・中学校において、授業時数を確保するため、休業日の設定変更の承認を諮るものである。

よろしくご審議のうえ可決されるようお願いする。

委員長 議案について審議する。

(1) 議案第1号 教育委員会の点検及び評価について(教育総務課)

教育総務課長 - 補足説明 -

これまで協議いただき内容を詰めてきた。外部識者の知見をいただき、整ったため議案として上程した。議決をいただいた後は、3月市議会の常任委員会において説明し、各議員に配付予定である。また、市民への公表としてホームページ掲載を予定している。

< 質疑・討論 >

委員 平成20年度9月末時点での中間評価ということで、内容としてはよいと考える。外部識者の知見の中で、ピア・サポート・プログラムの取組について、これは通常の道徳授業とは全く異なるものである。算数や、国語の授業のようなわかりやすさはなく結果もこれからであるが、教育委員としても研究発表前の授業を参観し今後につなげていきたい。

学校教育課長 市立の全学校で実施しているので、委員の日程に合わせて検討する。

委員長 これまで協議してきているので、内容としてはこれでよいと考える。外部識者も富里の実状をよく分かっているので、厳しくいわれている部分もある。今後に生かしていきたい。

< 採決 >

議案第1号は賛成全員により原案のとおり可決。

(2) 議案第2号 富里市立小学校におけるゆめ・仕事びったり体験に係る休業日の設定変更の承認について(学校教育課)

学校教育課長 - 補足説明 -

千葉県内の小学校6年生が実施するもので、本市においては夏期休業日に実施したい学校があり、実施日を夏季休業日から除き授業日とするため承認をいただくものである。

< 質疑・討論 >

委員長 議案として4校から申請が出ているが、他の学校は休業日以外に実施するのか。

学校教育課長 他の4校は夏季休業日前に実施する。

委員長 授業時数の関係もあって夏季休業日に実施することを計画したと思うが、体験ではなく企業の方から話を聞くなどの内容であれば授業時数にそれほどの影響はないと思われるが、実施内容等を聞いているか。

学校教育課長 ゆめ・仕事ぴったり体験は、半日の授業である。校外学習に併せて実施したりする学校もあるが、ゆめ・仕事ぴったり体験で企業に行くという学校が多い。

< 採決 >

議案第1号は賛成全員により原案のとおり可決。

(3) 議案第3号 富里市立小・中学校における授業時数確保に係る休業日の設定変更の承認について(学校教育課)

学校教育課長 - 補足説明 -

授業時数を確保するため、夏季休業日を変更したい旨申請があり、委員会の承認をいただくものである。

< 質疑・討論 >

委員 授業時数確保が目的ということは分かるが、それぞれの学校の事情が分かれば説明願う。

学校教育課長 毎年、当該年度の教育課程の報告については、4月末までにすることとなっている。平成19年度までは、小学校においては授業時数の不足は見られないが、中学校では不足も見られる。そのため富里南中学校では昨年より夏季休業日の変更をしている。今年度について、短縮授業のカット等により、小学校2校、中学校1校から授業時数を確保するため申請があった。

< 採決 >

議案第1号は賛成全員により原案のとおり可決。

6 協議事項

(1) 平成21年度とみさと教育プランの策定について(教育次長)

教育次長 - 資料に基づき説明 -

平成20年度との変更点についての説明があった。

内容については、平成20年度の内容を踏まえたものとなっている。

(1)等の項目については、当該施策を行う背景や課題、目的等を記述

し、等の項目については、当該事業を実施すべく現状や課題、事業の具体的内容や方法、事業の実施によって達成したい目標等を記述している。なるべく具体的で分かりやすいようにした。

委員長 まず、学校教育の充実について、質問等はあるか。気になる点として、児童・生徒の携帯電話の学校への持込みについて、対策等はあるか。

学校教育課長 携帯電話の持込みについては、市立小・中学校では原則禁止となっているが、状況により学校において適宜対応している状況である。携帯電話に関する国からの通知は2月上旬に来たが、原則禁止であり、それを尊重しながら対策について検討したい。

委員長 全国学力・学習状況調査や県標準学力検査の結果の分析及び活用について、各学校の代表者からなる研究会で相互に研究し、学力を向上させていくという意味であろうが、調査結果が向上するとある。ニュアンス的なものもあろうが、文言としてどうか。

学校教育課長 表現を検討したい。

委員長 「ふるさと学習」の推進について、教育課程に入れて「ふるさと学習」を推進していくと記載があるが、教育課程に関わるのは教務主任と思われるので、教務主任、研修主任の研修に取り入れてはどうか。

また、長期休業中にふるさと巡検を実施してはどうか。5年目以下の教員だけではなく、これから副読本の編集にも入るので、広い範囲で参加を募るようにして実施されたい。

学校教育課長 「ふるさと学習」については、教務主任あるいは担当者を通し周知をしている。

ふるさと巡検について、教科研究部があったときには実施していたが、学力向上推進委員会という大きな組織となってからは実施していない。

「ふるさと学習」を推進していくに当たっては、必要であり有効と考えるので実施に向け検討したい。

委員長 5年目以下の教員研修について、今年度、教育委員も優れた先生の模範授業の研修に参加したが、とてもよいものであった。できれば印旛管内だけでなく、広い範囲でそのような優れた教諭を依頼し授業を行っていただくようにしてはどうか。夏休みなどを利用し、多くの先生が参加できるような研修もよい。

委員 情報共有システムの活用について、平成20年度に教育委員会からの通知により「学校情報等共有システム」に登録したが、2度配信があった。保護者へ通知し、登録していただくよう啓発した方がよい。

学校教育課長 学校を通して登録していただくよう啓発に努めたい。

委員 食育の推進について、以前から授業内容の見直しについて意見を述べているが、小学校全校を回るだけで5年の歳月がかかるというのはどうか。本来であれば、毎年、学年を決めて進められるべきものとする。授業の内容について、よく検討し、同学年についてはどの学校でも行われるようなものとされたい。

学校教育課長 食育の年間指導計画については、平成20年度に策定し、平成21年度から実施すべく準備を進めている。委員ご指摘のとおり、毎年、その学校でも実施できるように検討している。

委員 給食の残菜問題への取組について、平成21年度から幼稚園・学校と連携を図り調査・研究を進めるとあるが、今まで調査・研究がなされていないのか。

また、残菜問題について、これまでどのような対策がとられていたか。  
学校給食センター所長 これといった対策はとられていない。残菜を減らすべく幼稚園、小、中学校と連携を図り検討していきたい。

委員 食育の授業をやったおかげで、普段給食を残す子どもも残さずに食べたと聞いた。食育と併せて検討されたい。

また、学校支援ボランティアの推進について、PTA連絡協議会等、関係団体への要請とあるが、よいことと考える。新聞に、第一小学校の家庭科の授業について、学校支援ボランティアの記事が掲載されており、大変よい結果が出ているということであった。これからも、先進地、成功事例等を参考に推進願いたい。

委員長 学校支援ボランティアについて、PTAの総会等に出席し、学校側から頼みづらいこともあると思うので、教育委員から依頼してもよいという考えでいる。

次に、生涯学習の推進について、補足説明はあるか。

生涯学習課長 変更点については、教育次長から説明があったとおりである。その中で、特に公民館の充実について、公民館の利用者数が減少傾向にあり、利用者数を延ばすために休館日や利用区分など運営の在り方について検討したい。

委員 放課後子ども教室と「とみさとザ・ワールド・キッズ」と「英会話の日」推進事業の実施について、とみさとザ・ワールド・キッズを放課後子ども教室の一環として位置付けているが、とみさとザ・ワールド・キッズ運営委員になっていただく人を探すことは、毎年難しく、地域で子どもを育てていくという認識を持たずに運営委員に任命されている人もいる。放課後子ども教室と「とみさとザ・ワールド・キッズ」と「英会話の日」を関連させて推進するにあたり、この事業がどういったもの

でどういった目的をもっているのかを理解してもらうのが重要と考える。市民の協力が必要である。

生涯学習課長 放課後子ども教室と「とみさとザ・ワールド・キッズ」&「英会話の日」については、学校以外で子どもを育むということでは同様のものであろうし、経費における手当も同じ予算からの支出としている。各小学校区を回り、地域の組織が一同に会するような機会があるかどうかの調査をした。そのような会合の際に趣旨説明ができればよいと考える。

委員長 平成21年度は、1～2校でのモデル事業にはいっていくとのこと、一歩進んだ形になっていくのか。

生涯学習課長 今年度より進んだ形で取り組む予定である。モデル的に1～2校の実施を予定している。

委員長 図書館長補足説明はあるか。

図書館長 よりよい図書館作りという観点からどういう形が望ましいかを検討した。今後、図書館としては市民と一緒にあった形が求められると考える。財政状況も厳しく、市民に図書館の状況を理解していただきながら、次年度にボランティアの育成・支援を計画している。

委員長 教育委員会として、ボランティア活用を推進し育成して、ボランティアの方々が実施しやすいようにしていかなければならない。

次に、文化・スポーツの振興についてはどうか。

生涯学習課長 文化祭について、来場者とのコミュニケーションの向上を推進している。展示部の説明や、体験教室の開催等である。また、講堂の使用について、新たなものを検討する。

文化財保護員の育成について、保護員育成プログラムの作成に着手し、平成22年度に養成講座の開設を目指す。

スポーツについては、平成22年度に千葉国体が開催されることから、デモンストレーション事業として、ソフトバレーボール大会開催を予定している。

委員長 教育委員でも、どのようにすれば来場者が増やせるか話をした。駐車場でイベント等があれば一番よいが、文化祭を他のイベントに合わせて開催してはどうかという話もでた。また、英会話の日を文化祭の芸能発表に合わせて開催してはどうかという話もでた。児童生徒の発表もよいが、保護者は自分の子どもの発表が終ると帰ってしまう。何か観客を引き止めておく方策が取ればと思う。教育委員の中でも検討したい。

生涯学習課長 ご意見等いただき、内部でもよく検討していきたい。

委員長 今年度の反省に基づいたり、有識者の意見を参考にして新しい試



みがあり、更に充実して内容が加えられるなどよく考えられた教育プランである。この内容が実現できるよう努力していきたい。

学校にはなるべく早く提示した方がよい。

教育次長 2月の校長会議において内容を示し、学校からの意見をいただくようにしている。本日、ご意見をいただいた箇所について、修正すべきところは修正し、3月の教育委員会定例会議において承認をいただく予定である。

(2)平成21年度学校プール開放事業実施要綱の制定について(生涯学習課)

生涯学習課長 - 資料に基づき説明 -

学校プール開放事業は、平成19年度から実施しているが、当該年度は実績がなく、平成20年に日吉台小学校において実施した。市民を対象とすることの意見もあるが、市民プールを想定した施設ではないことから、従来どおり対象を児童・生徒とした。主な変更点として、申請時に名簿を添付を義務付けていたが、名簿の添付を要しないこととした。また、保護者の同意書の添付についても、規定を削除し、添付を要しないこととした。

次に、利用者の保護者について、これまで小学校3年以下の児童について付き添いを義務付けていたが、5歳以上小学校1年生までを義務付けることとした。

次に、団体の責務として、救助員の必要人数の変更をした。

委員 昨年に比べ、利用しやすくなっていると思う。人数確認について、今回変更箇所となっている。把握は非常に難しく、出入口に人員を配置しての確認が必要である。利用団体の方々には、人数確認の重要性をよく理解していただき、工夫しながら実施していただきたい。

生涯学習課長 人数把握について、最初に受付を設けていると思うが、適宜点呼を行っていただくよう考えている。

委員長 八街市は、中学校のプールを使用して市内の子どもたちの全てを対象としているのか。

また、業者は専門の人で人数が少なくなっているのか。

生涯学習課長 業者委託となるので、専門の人となる。また、利用者は子どもに限ってはいない。

委員長 近隣の市に比べて厳しいものとなっているが、この内容で進めていただきたい。

(3)体育館の開放に係るかぎの貸出しに関する要綱の一部を改正する訓令の

制定について（生涯学習課）

生涯学習課長 - 資料に基づき説明 -

学校体育施設の開放について、従来よりかぎ及びカード1組を1施設だけ行っているが、2施設を使用している団体もあることから、要件を満たす団体に対し、各施設のかぎ及びカード1組を貸し出すことができるよう改正するものである。現在、2施設を利用している団体は5団体で、4団体から要望がある。

委員 2施設を利用する団体が5団体あり、曜日により施設を変えているということは承知している。かぎ及びカードを団体が管理することとならずいぶん経つと思うが、これまで紛失してしまった団体はどのくらいあるか。

生涯学習課長 制度としては5年位前からとなるが、3、4団体と記憶している。紛失に対する経費については、その団体が持つこととなる。

委員長 2施設とすることで支障は生じないか。

生涯学習課長 利用団体は毎年増えている。使用状況はいっぱいになっているが、各団体で話し合い調整をしている。

委員長 この内容で進められたい。

（4）富里市指定文化財の指定について（生涯学習課）

生涯学習課長 - 資料に基づき説明 -

大和区の多くの古文書について、市指定文化財に指定するにあたり文化財審議会に諮り、意見を求めるものである。

委員長 この多くの資料が、今年に発見されたものか。

生涯学習課長 今回発見された282点について、大和区の集会所に保存されていたものである。

委員長 この目録の古文書を文化財審議会に諮問することとしたい。

（5）富里市文化財調査専門委員の設置等に関する規程の制定について（生涯学習課）

生涯学習課長 - 資料に基づき説明 -

民俗文化財の調査は、文化班で行っている。人員は4名であるが、1名は印旛郡市文化財センターに派遣している。今年度末で定年により退職する職員が1名おり、その補充について要望するところであるが、定員適正化計画等の関係から補充は難しいとのことから、文化財調査専門委員を1名委嘱し対応するものである。

委員長 誰にでもできるというのではなく、規程を作り専門委員により

調査を進めていただきたい。

午後 4 時 1 4 分 休憩

午後 4 時 2 7 分 開議

## 7 報告事項

### ( 1 ) 平成 2 1 年度当初予算案の概要について ( 教育次長 )

教育次長 - 資料に基づき説明 -

市の当初予算の内，教育費は 1 1 . 3 パーセントである。耐震化の事業を前倒しし，3 月補正とすることから平成 2 1 年度においての計上は予定していない。

委員長 学校等施設の修繕費がかさんでくることと思う。富里市と近隣の市の予算状況を新聞で見たが，少ないものとなっている。これからはボランティアを育成していかなければならない。そういった日曜大工的なものもお願いできれば，修繕費も助かると思う。

また，パソコン等も企業で使わなくなったものもあるのではないかとと思う。そういったものの利用も検討してはどうかと考える。

### ( 2 ) 富里市就学区域審議会の開催結果について ( 学校教育課 )

学校教育課長 - 資料に基づき説明 -

平成 2 1 年 2 月 1 6 日に就学区域審議会を開催した。5 名の委員の出席で，児童数の推移，就学指定校変更に係る現状等，課題や懸案事項について話し合われた。特段，委員からは意見はなかったが，事務局から洗心小学校の小規模化に伴う問題や，市内の状況を情報提供した。

委員長 P T A からの委員が欠席していたこともあろうが，各小中学校からの課題があれだけ出ていたことや，就学指定校変更者数の資料を出していても意見があまり出てこなかったとのことで，これまで開催がされなかったことから情報の提供に留まったものと思うが，課題がでているので，もっと意見を出してほしいと考える。また，指定校変更者数がこれだけあるということは，就学区域の変更も考えなければならないのではないかと。このような資料について，教育委員にも示されたい。

### ( 3 ) 個別指導補助員活用状況調査の結果について ( 学校教育課 )

学校教育課長 - 資料に基づき説明 -

小学校 8 校，中学校 1 校に個別指導補助員が配置されているが，内訳から通常学級における支援も多い。指導の内容としては，学習の遅れ等

の補助や注意を向けさせる助言等が多い。来年度についても、配置人数の変更はないが、有効活用の更なる向上を図っていきたい。

委員長 通常学級における補助が増えているとの説明があったが、特別支援学級の人数が多い学校は、その対応でいっぱいとなり通常学級まで手が回らないのではないか。一般の先生から個別指導補助員への要望等はあるのか。

学校教育課長 個別の状況は把握していないが、資料について管理職だけで作成したものではないと考える。

委員長 現実として、個別指導補助員がいないと大変である。特別支援学級のコーディネーターは各学校に配置されているが、個別指導を必要とする子どもは増えているので、今後も配置や協力などよろしく願う。

#### (4) 月例報告(各課等)

各担当課長等 - 資料に基づき説明 -

##### 教育総務課

- ・ 2月9日 愛知県東浦町教育委員会視察の受入をした。
- ・ 2月10日 東京都西多摩郡町村教育長会視察の受入をした。
- ・ 2月13日 市内断水事故では教育委員会の職員38名が出動した。
- ・ 3月4日 予算審査特別委員会が予定されており当初予算の審査が行われる。
- ・ 3月5日 教育委員による富里南小学校屋内運動場の視察を予定している。また、11日には市議会議員による視察を予定している。
- ・ 3月24日 第15回教育委員会定例会議を予定している。

##### 学校教育課

- ・ 2月18日 市立小・中学校教職員普通救命講習会。AEDが設置されることに伴い実施した。
- ・ 2月26日 内申事務。異動になる教職員の関係書類の交換を行う予定である。
- ・ 3月12, 13日 教育長・校長面接。特色ある学校づくりの成果と課題、全国学力・学習状況調査の今後の活用、目標申告、業績評価について実施予定である。
- ・ 3月27日 教職員辞令伝達式を予定している。
- ・ 2月3日開催の校長会議について、資料の内容で開催した。特に、インフルエンザの予防対策及び対応について依頼した。

#### 学校給食センター

- ・ 3月18日 千葉県学校給食センター研究会。栄養士と参加したが、地産地消について研修した。
- ・ 3月18日 3学期学校給食最終日の予定である。

#### 生涯学習課

- ・ 2月8日 「英会話の日」関連行事。Let's Enjoy Performance!を開催した。427名の参加であった。
- ・ 2月15日 第22回少年少女綱引きドッジボール大会。インフルエンザの流行により延期となったものである。20組245名の参加であった。
- ・ 3月10日 学校体育施設開放利用団体代表者会議。AEDの講習会を予定している。
- ・ 3月17日 文化財審議会。協議いただいた古文書の文化財の指定について審議いただく予定である。

#### 図書館

- ・ 2月22日 第4回富里歴史講座。80名の参加で盛況であった。
- ・ 3月13日 第2回富里市図書館協議会を開催する予定である。

#### 8 その他

(1) 平成20年度卒業式・卒園式出席予定者について(学校教育課)

学校教育課長 - 資料に基づき説明 -

市内幼稚園,小・中学校,特別支援学校,高等学校と予定されている。  
出席についてよろしく願いしたい。

#### 9 委員長閉会宣言

委員長 これ第14回定例会議を終了する。